

■ 景観計画区域内行為届出書添付資料 景観配慮説明書（エリア別基準用）

○ エリア別基準（住居系エリア）への対応

視点	地域らしい景観づくりのポイント	具体的な景観配慮
I 地域の 成り立 ちを知 る	緑の潤いを身近に感じる環境の創出に努める。	
	大規模な場合は、見え方を工夫し、周辺のまち並みから突出して見えないよう努める。	
II 周辺を 見渡す	建築物等の配置をまち並みの特性に調和するよう努める。	
	周辺の住環境に調和する、落ち着いた形態、意匠とする。	
	周辺の住環境に調和する落ち着いた色彩とする。	
	周辺の住環境に調和するよう、敷地内の緑化に努める。	
	周辺の自然や地形に馴染ませ、巨大な法面や擁壁が生じないように努める。自然地形の改変は必要最小限とするよう努める。	
III 細部に 目を向 ける	周辺の住環境に調和する素材の使用に努める。	
	歴史的な特徴のあるまちでは、昔ながらの建築様式や外構の特徴を尊重し、地域特性との調和に努める。	
	照明や広告物等を設置する場合は、周辺環境に調和する落ち着いたものとなるよう努める。	
	既存樹木の保全と活用に努めるとともに、地域の植生や生物多様性に配慮した緑化に努める。	
	適切な維持管理を行うとともに、庭先への草花の飾り付けなど、地域の魅力向上に努める。	